

議員氏名：羽根 かほる

議案番号：議案第47号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

討論内容：

私は、議案第47号「令和8年度一般会計予算」に賛成の立場で討論をいたします。

私の一般会計の予算編成に求めたことは、財源の確保策を行いつつ、必要な事業には予算をつけて、町の発展、そして、住民の生活の質の向上を実現するという予算編成への方向転換でした。

そして、人件費や資材の高騰、金利の上昇、中東情勢などの社会情勢の変化による影響が考えられる新庁舎整備、ラディアンの大規模改修などの大型建設事業の予算の低減策または工期の変更を行って、町民サービスの低減を引き起こさない予算編成を要望してきました。

今までの質疑を通じて、庁舎整備は契約額の変更がある場合には議会の議決案件となること、ラディアン大規模改修は1期目の工事であるエアコンと外壁の工事のみであり、ここにも契約の議決が出てくるということを再確認いたしました。議会の承認がなくては前に進めないということは、理解をいたしました。

次に、一般質問から継続して訴えてきましたふるさと納税についてです。

中間事業者の知見を生かした方策で推進するという具体策を評価はしますが、事業者へ支払う費用の高額化が問題視されている状況です。費用対効果を慎重に見極めること、また、町外に納付されるふるさと寄附金の額を上回る納税をまずは目標にしていきたいと思います。

令和8年度中に議会の議決なくして大型建設事業が大きく進むことはないと判断したこと、また、様々な質疑を通して、財源確保策及び予算編成の在り方については、一定の理解をしていただいたと捉え、賛成といたしました。

最後に、今後の予算編成の方針について、お伝えしたいと思います。

今回の予算を反対した議員の意見を大きく総括するとですが、町民の生活に寄り添った、公平性を持った予算配分をしてほしいということだったのではないかと私は思っています。

多くの町民の方が、町のため、町民のために様々な活動をしてくださっております。その活動の中には、町の補助もあり、今後どうなるのか、非常に心配をおかけしたことも事実です。

しかしながら、予算配分がなく苦しんでいる、悩んでいる、不安になっている、日常生活に支障を来している、また、安全を守られていない町民がいることも、これも事実です。

今定例会において明らかになりました学校のトイレの整備状況、陳情採択となった冷水器の設置、これは中学校の部分は予算に配分されておりましたが、小学校の部分は配分されておられません。私も二宮小学校に通う小学生を夏のところで見ますと、大きな水筒をやはり斜めがけしているところをよく見かけます。

また、学校体育館のエアコンもそうです。速やかに行うべき事業が予算には組み込まれていません。早急に対応が必要な事業においては、補正予算等でも速やかに対応していただきたいと思っています。

また、地域公共交通に関連してくる部分だとは思いますが、家族の助けが受けられない独り暮らしの高齢者の方々の生活は、本当に困難な状況にあります。外出は、食料品を買うことや通院だけではありません。お友達に会うことや、食事を楽しみに外出をすることにも移動手段が必

要なんです。

足の不自由な方は、定時に出発するバスや電車には怖くてやっぱり乗れないんです。転んでしまう危険性があるためです。この方々たちに、移動スーパーがあるからよい、タクシーがあるからよいということでは決して私はないと思います。

特に高齢者の方、年金生活をしている中で、幾ら補助があったとしても、タクシーで頻繁にお出かけすることはできません。やはり、ここはしっかりと考えていかなきゃならないところだと思います。

私は、お会いした町民の方から、真剣にまちをよくしてほしい、家から出ることができない、これは高齢者の方で、1人でお暮らしの方です。こういうことを、必死に、もう切実に私、訴えられた、つい最近です。全く初めて会った方ですけども、こういうこともあるということです。

また、病氣療養中の方から、町道の老朽化にある側溝の音で夜眠れないという相談もありました。これは解決には向かったんですけども、やはり相応の時間がかかり、その間、我慢をお願いしていたという状況もあります。

このような現状や、この現実を、やはり執行者はしっかりと見詰め直していただきたい。間もなく始まる令和9年度の予算は、町民の生活に寄り添った編成をしていただきたいということです。

また、今後のまちづくりにおいては、令和9年度以降策定となる予定の、総合計画や公共施設等総合管理計画において、住民サービスを決して低下させないための公共施設の在り方、これは多大な事業の費用をかけないことも含めて、また、財政見通しをしっかりと立てて、事業の精査と構築を行っていただきたいと考えます。

そして、今後の町政運営についてですが、この町民が抱える様々な課題に対して、行政及び町民の代表である議会、そして、町民の皆様の様々な力をお借りして、対話を十分に重ねながら、オール二宮、町全体で取り組み、誰がやるとかではなく、全体で、オール二宮で考えれば私はいいと思います。

多様な課題を共有しながら、その解決方法を見いだして、高齢者の方も、子どもたちも、そして、誰もがいつまでも安全・安心、まずは安全・安心です。これを暮らし続けられるまちづくりを目指していただくことを私は希望します。以上です。